

# U.S. Indicators

発表日: 2019年6月26日(水)

## 米国 19年5月耐久財受注・資本財受注

～資本財受注が上振れもFRBが目する機械設備投資は減速したまま～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

	耐久財受注											
	出荷			受注						在庫		
	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機			除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機		
18/07	▲0.0	+0.4	(+8.7)	+1.0	▲0.9	+0.1	(+8.1)	+1.7	+1.5	+0.3	+0.1	
18/08	+0.8	+0.1	(+7.3)	▲0.2	+4.2	+0.0	(+7.5)	▲0.7	▲0.4	+0.4	+0.5	
18/09	+0.7	▲0.1	(+5.9)	+0.0	+1.5	▲0.4	(+5.2)	▲0.4	+0.8	+0.7	+0.9	
18/10	+0.1	+0.5	(+5.8)	+0.7	▲4.4	+0.7	(+5.0)	+1.0	+0.3	+0.2	+0.3	
18/11	+0.9	+0.1	(+4.7)	▲0.3	+0.6	▲0.6	(+4.8)	▲1.2	+0.5	+0.6	+0.5	
18/12	+0.3	+0.2	(+4.3)	▲0.1	+1.1	+0.2	(+3.7)	▲1.6	+0.4	+0.4	+0.6	
19/01	▲0.1	+0.1	(+4.1)	+1.2	+0.5	+0.1	(+4.2)	+1.4	+0.5	+0.3	+0.5	
19/02	+0.0	+0.7	(+4.0)	+0.3	▲2.6	▲0.3	(+2.3)	+0.3	+0.4	+0.0	▲0.0	
19/03	▲0.5	▲0.7	(+3.1)	▲0.6	+1.7	▲0.5	(+1.5)	+0.3	+0.3	+0.4	+0.7	
19/04	▲1.6	▲0.1	(+1.8)	+0.4	▲2.8	▲0.1	(▲0.0)	▲1.0	+0.4	▲0.0	+0.1	
19/05	+0.4	+0.4	(+1.9)	+0.7	▲1.3	+0.3	(+0.2)	+0.4	+0.5	▲0.0	+0.2	

19年5月の耐久財受注は、民間航空機の落ち込みの緩和によって前月比▲1.3%（前月同▲2.8%）と減少幅を縮小し、市場予想コンセンサスの同▲1.8%を上回った。変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、前月比+0.3%（前月同▲0.1%）と市場予想コンセンサスの同+0.1%を上回った。耐久財受注は、市場コンセンサスほど悪化していないものの、世界経済の減速や米中貿易戦争による不透明感の強まりに加えて、事故による航空機受注の大幅な減少等によって、停滞している。

業種別では、一次金属、コンピューター・電子製品関連、その他耐久財が増加に転じたほか、一般機械が加速した。一方、加工金属、電気機械関連が減少に転じたうえ、輸送機器が減少を続けた。規模の最も大きい輸送機器では、自動車が増加に転じたものの、軍用航空機、民間航空機が大幅な減少となった。

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、5月の耐久財受注が▲8.5%（前月▲6.5%）、基調を示す輸送機器を除く耐久財受注は▲2.6%（前月▲2.2%）とともにマイナス幅を拡大しており、耐久財受注は勢いを失ったままとなっている。

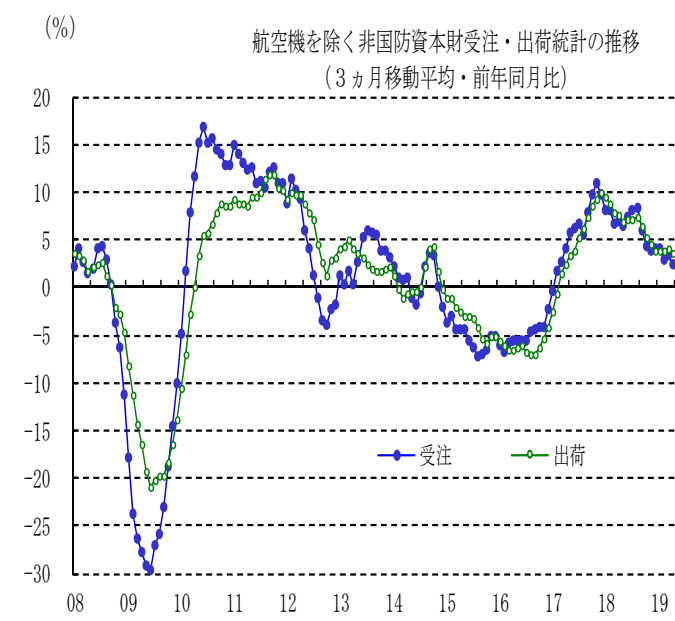
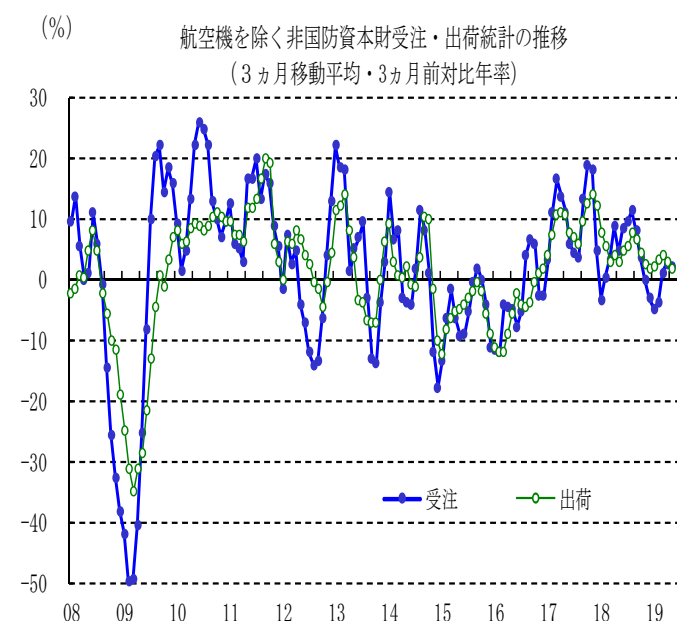
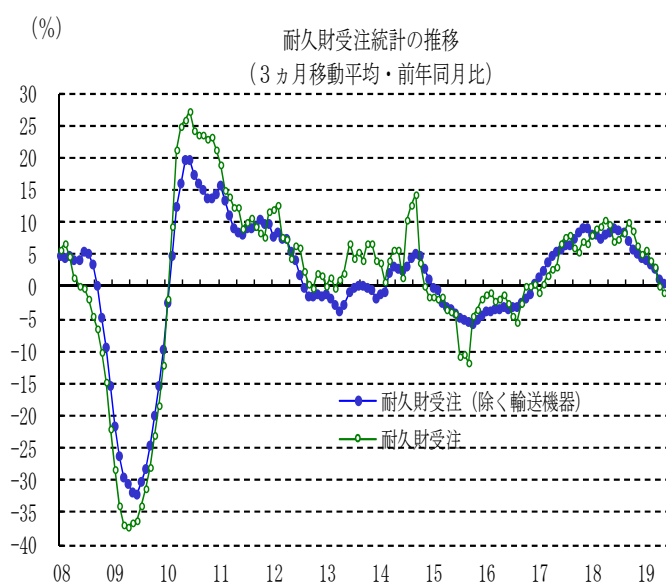
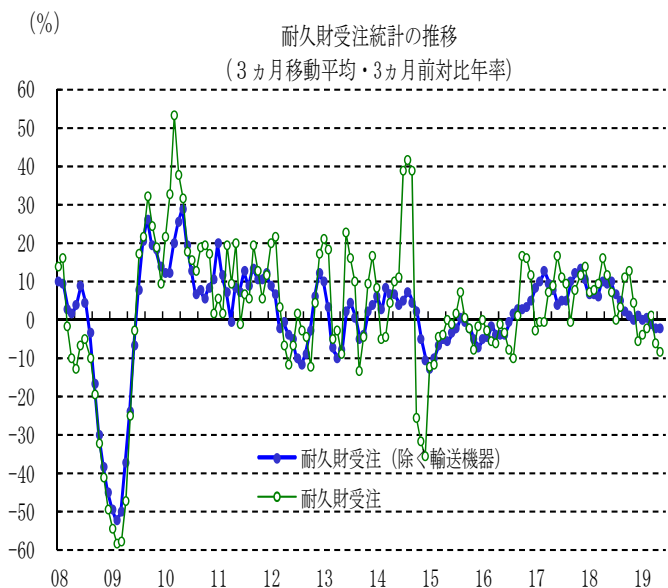
前年比では、1-5月期の耐久財受注は+1.0%（1-4月+2.1%、以下同様）、輸送機器を除く耐久財受注が+1.5%（+1.6%）と拡大ペースは鈍化している。業種別の伸び率を高い順にみると、軍用航空機が+20.3%（+38.9%）、自動車・同部品が+7.5%（+6.4%）、コンピューター・電子製品関連が+4.5%（+4.7%）、電気機械・同部品が+4.0%（+4.0%）、加工金属が+1.9%（+2.4%）、一般機械が+1.2%（+1.3%）と続いた。一方、民間航空機が▲39.4%（▲26.6%）とマイナス幅を拡大したほか、一次金属が▲0.9%（+0.7%）と減少に転じた。

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が5月に前月比+0.7%（前月同+0.4%）と市場予想の同+0.1%を大幅に上回った。ただし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+1.7%（前月+3.0%）と減速したうえ、4、5月平均でも1-3月期対比年率+1.5%と1-3月期の前期比年率+4.0%から減速していることから、4-6月期の機械設備投資の停滞持続

を示唆している。

機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、5月に前月比+0.4%（前月同▲0.1%）と市場予想の同+0.1%を上回った。しかし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+1.9%（前月+2.6%）と減速したほか、4、5月期では1-3月期対比年率▲2.0%と1-3月期の前期比年率+1.1%から減少に転じており、7-9月期の機械設備投資の縮小を示唆している。

トランプ政権の通商政策に対する不透明感の高まり、世界経済の減速などを受け、19年後半も機械設備投資は緩やかな拡大にとどまると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。